

総選挙・京都市長選へダッシュ

新春宣伝 近畿から新しい政治を



「京都から新しい政治を」

福山さん 激戦勝利へ年初から

19日告示（2月2日投票）の京都市長選に立つ弁護士の福山和人氏＝共産・れいわ推薦、新社会府本部支持＝は1日、祇園・八坂神社前をはじめ各地で宣伝。福山氏は「市長が市民の暮らしを必死で応援すると腹をくくったとき、どんな新しい景色が広がるか、ぜひ体験してほしい。もし京都でそれができたら市民の声で新しい政治をつくる新しいうねりが日本中に広がる」と訴えました。

希望ある政治を取り戻そう

こくた、倉林氏 党京都府委員会は1日、八坂神社前で宣伝。こくた恵二衆院議員、倉林明子参院議員、地方議員が訴えました。こくた氏は、市長選について「ホテルラッシュや簡易宿所、民泊の急増でいま『京都が京都でなくなる』深刻な事態が進んでいる。まちこわしを主導してきたのが現市長だ」と批判。「いまこそ、京都のまちと生業（なりわい）を守る市政に転換



へ福山市長を実現させましょう」と訴えました。倉林氏は「桜を見る会」疑惑の徹底追及を表明。「市民と野党が結束すれば政治を動かすことができる。希望ある政治を取り戻す年に」と訴えました。

カジノより防災を 清水、宮本、たつみ氏

1日、清水ただし衆院議員、宮本たけし前衆院議員、たつみコータロー前参院議員は天神橋筋商店街入り口で宣伝。清水氏はカジノ汚職に触れ、「ロッキード事件のような重大事件だ。カジノは博打であり百害あって一利なし。カジノより防災を」と訴え。宮本氏は自衛隊中東派兵の閣議決定について「戦争に巻き込まれる可能性のある派兵が現憲法で許されるはずがない。戦争反対を貫いた党として9条、若い自衛隊員の命を守る」、たつみ氏は参院大阪選挙区再挑戦の決意を述べ、「ジェンダー平等、個人の尊厳が守られる社会を」と訴えました。



ウソ、偽りのない政治を 清水、こむら氏

清水ただし衆院議員、こむら潤近畿比例候補（尼崎市議）、地方議員は3日、神戸元町・大丸前で宣伝。こむら氏は市議任期途中で国政に挑む決意について「三人の子の母として桜を見る会疑惑など子どもにウソ・偽りの政治は見せたくない」とし、「共産党を大きくして政治を変えよう」と訴え。

20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

清水氏は消費税減税で暮らし応援の政治を訴えました。

No. 1 (2020.1.4)